
天上の君へ送る手紙

絶影

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

天上の君へ送る手紙

【Nコード】

N7152E

【作者名】

絶影

【あらすじ】

ずっと前に逝ってしまった僕にとって大切な君・・・今、君へ送る手紙を書いてみたんだ

久しぶりだね。

君がこの世界を旅立ったのは何時だったっけ？確か高二位だったと記憶してる。

君が旅立ってしまう前に言ってくれた言葉は今も覚えているよ。

『また会おうね』って言ってくれた事。あの一言があるから僕は頑張れた。

それに『頑張って生きてね』とも言ってくれた。あの一言が泣ければ僕はすぐに命を絶っていたのかもしれない。

君が居なくなってしまった後には本当に何も残らなかったよ。火葬の時も、埋葬の時も四十五日の時も、一周忌も・・・

誰も君に会いにこようとしなかった。だからお寺さんが困っていたよ。一人なのに葬式はするのか？とね。

でも僕はします。と答えたんだ。じゃないと君がかわいそうじゃないか。

これは勝手に僕が思ったことだから君の意思は尊重されてはいないけど、僕が満足するようにしたかったんだ・・・ゴメンね。

だから僕は頑張った。君が居なくなってから誰も僕の事を見てくれなかったけど頑張ったんだ。

君とまた会ったときに恥ずかしくないようにするために

おかげで、引退前には世界的に有名な博士にまでなることが出来た。
全部君との約束のおかげさ、ありがとう。

あの時はすぐに返事が出来なくて困らせてしまつて申し訳ない。

でも、今だつたら言える。《君との約束は果たしたよ》とね。

僕はもう少ししたら君のもとへ行くよ

先週から入院しているんだけど、昨日、僕の担当の先生が言つてくれたんだ。

もう寿命だつて事をね。

だから僕は胸をはつて君に会いに行こうと思う。

およそ60年・・・こんなにも待たせてしまつて悪かったね。

僕は君が居なくなつてから一度も恋人を作らなかつたけど君はどうだろうか？

僕と同じかな？それとも天上の世界で素敵な人でも見つけたのだろうか・・・

“出来れば僕と同じであってほしい”・・・それが今の僕にとって
のささやかな願いさ

（後書き）

こんちあ、絶影です。

ふと思い立って書いてみた詩（？）です

書いた後にちよつと気になった事があります。

付き合っていた相手が急に病は事故で逝ってしまった後に、この小説の《僕》みたいな生き方が果たして出来るのかと

もし、出来るのならその逝ってしまった相手も少しは気が楽になるんじゃないかなと

そんな感じで書いてみたものです、雑文ですが読んでください有難う御座います

ちよつとアドバイス受けたのでちよいちよいと訂正してますが・・・
変だったら言って下さいorz

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7152e/>

天上の君へ送る手紙

2010年10月11日02時39分発行